



さあ一緒に改革！
暮らし優先の国へ



日本維新の会
公認

春藤 さやか
40歳

- 1. 「身を切る改革」** 議員報酬・議員定数3割カットし、コロナ禍で困難を抱える、各種団体や災害被災地に寄付。
- 2. 教育を無償化** 就学前～高校・大学・専門学校等を無償化。だれもが平等に教育を受けられる国へ。
- 3. コロナ治療薬の開発推進** 国産ワクチンと新型コロナ治療薬の研究開発・生産体制強化して「第6波」に備えます。
- 4. コロナ休業事業者支援で経済再生** コロナ禍で影響を受けた様々な事業者に給付金等、大胆な財政支援で活気ある街を再生。
- 5. 消費税5%へ** 経済と家計を豊かにするため消費税引き下げ断行。所得税・法人税を減税する「フロー減税」を実行。
- 6. 国土を守る危機管理改革** ソフト重視の復興支援策を推進。国内発電電力量に占める再生可能エネルギーの割合を拡大。
- 7. 全国民へ毎月6万円以上給付** 全世界で注目されている新しい社会保障「ベーシックインカム」導入。誰もが安心してチャレンジできるセーフティネットの実現を推進。
- 8. 憲法改正** 統治機構改革と国民が選挙で直接選ぶ「首相公選制」の推進。

春藤 さやか 1981年10月生まれ 40歳 弘前大学卒
NPO活動(子ども食堂、フードバンク)
シングルマザーとしてフルタイムで働く傍ら、様々な子育て支援の社会活動に取り組み。また自身のハラスメント経験から、ハラスメント相談団体でのボランティア活動にも参加。その後、仙台市議会議員の秘書として、現場で市民の皆さんの声を聴き、課題解決に取り組む。
●小学生の娘と2人家族 ●趣味：読書(宮部みゆき)

吉村 洋文 日本維新の会 副代表 が応援しています!

教育と研究と産業が循環するエコシステム
科学・技術の地産地消 実現を応援してください!

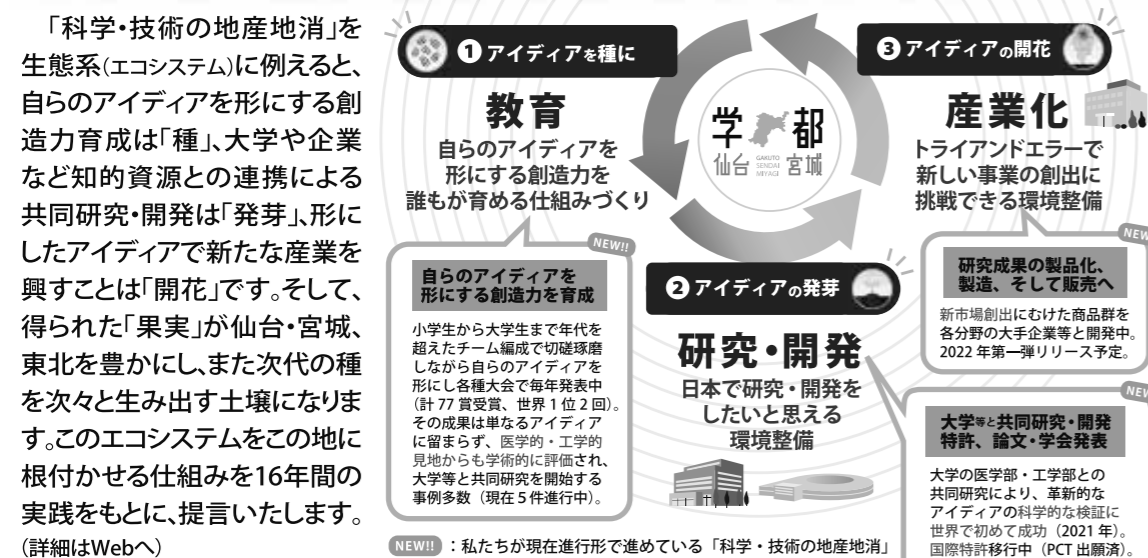
私は「知的好奇心を育み、自らのアイデアを形にする創造力の育成こそが、その人の心と未来、そして社会を豊かにする何よりの源泉になる」という信念のもと、2005年東北大学大学院在学中に起業して以来、「科学・技術の地産地消」をスローガンに、ここ仙台・宮城の地で大学・研究所や企業等約300団体と連携しながら、16年間一貫して活動して参りました(主な実績は右図、プロフィール、HP参照)。新しい価値を生み出す研究・開発の推進、イノベーションの支援、そして、その源泉となる「創造力を育む教育を誰もが受けることができる仕組みを創ることなしに、日本の明るい未来はない」という非常に強い危機感から立候補を決意いたしました。
科学技術創造立国日本の基盤と未来を、ここ仙台・宮城の地から創る「科学・技術の地産地消」の実現を応援してください。



- 来場者40人からスタートし1万人超の科学イベントに成長
- 300団体・会員2万5千人規模のサイエンスコミュニティを形成
- 育成した小中高大学生がIoTの世界大会に計7回3年連続出場
- 大学発ベンチャー設立、科学的なエビデンスに基づく新市場創出へ

大草よしえ 仙台・宮城における活動16年間の提言

教育と研究と産業の循環が、仙台・宮城、東北の未来をつくる!



大草よしえ プロフィール

- 1982年生まれ。富谷町(現富谷市)立富ヶ丘小学校、日吉中学校、宮城県泉館高等学校卒、東北大学理学部卒(2005年)。
- 2005年、東北大学大学院在学中に有会社FIELD AND NETWORK設立、取締役役に就任。ひとり新聞社「宮城の新聞」を主宰し、科学や教育等をテーマに500本を超える取材記事を執筆、中高生むけに発行中。
- 2007年、特定非営利活動法人 natural science 設立、理事に就任。『学部「仙台・宮城」サイエンス・デイ』(主催)を手当り開始。来場者40名からスタートし来場者1万人を超える全国最大級の科学イベントに成長。
- 2013年、『学部「仙台・宮城」サイエンスコミュニティ』設立(科学技術振興機構「ネットワーク形成地域型」採択事業、提案機関:宮城県、運営機関:特定非営利活動法人 natural science、主幹:大草よしえ)。
- 育成した人材は「国際イノベーションコンテスト」世界大会に連年7回3年連続出場し世界1位(計2回)や特許取得の他、文部科学大臣賞や総務大臣賞等、合計77賞受賞。さらに形にしたアイデアを事業化し産業を興すロールモデルをつくるべく、育成したメンバーで大学発ベンチャー設立(2020年)。大学の医学部・工学部との共同研究により、アイデアの新規性・進歩性が認められ(国際特許移行中)、科学的根拠に基づく新市場創出にむけて大手企業等と商品開発中(2022年販売予定)。
- 有識者として、文部科学省や内閣府、宮城県、仙台市、東北大学等の各委員、学校評議員(仙台第二高等学校、仙台南高等学校、宮城広瀬高等学校、仙台青陵中等教育学校)等の委員を30以上務める。仙台市永年功績表彰(2020年)等受賞。



無所属

大草 よしえ
39歳

私が政治家を志した原点は「保育園落ちた」の経験です。

いのち
子ども
暮らしを
守る。



立憲民主党公認
衆議院議員候補者

今まさにコロナ禍で、仕事や住まいを失った方々、子育てや学費の工面に苦慮している方々、夢をあきらめた方々がいらっしゃいます。弱い立場の方々を徹底して支えます。
そして、日本の将来を担う子どもたちを第一に、当事者の声が届く、多様性のある社会へ。
社会の分断を解消し、広がった格差を是正するために、全力を尽くします。

重点政策。

- 1. まずはコロナ克服。**
 - ・ 自宅療養方針の撤回と医療提供・検査体制を見直し
 - ・ 持続給付金など経済支援補正予算(30兆円規模)を編成
 - ・ 診療報酬、介護報酬、障がい福祉等報酬の上乗せ特例を延長
 - ・ 子育て世帯・コロナ困窮世帯への臨時特別給付金(仮称)支給
 - ・ 水際検疫対策の徹底
- 2. 格差・分断からの脱却と多様性を認め合う社会へ。**
 - ・ 消費税5%減税で早期の景気回復
 - ・ 保育・介護職の所得アップ
 - ・ 選択的夫婦別姓を早期に実現
 - ・ ネットの誹謗中傷・性別・障がい・国籍等の差別解消
- 3. 子ども・若者の未来を徹底支援。**
 - ・ 児童手当を高校生まで拡充
 - ・ 大学授業料引き下げと専門学校生への給付型奨学金拡充
 - ・ 不妊治療の負担軽減と出産一時金の引き上げ
 - ・ ヤングケアラーの早期発見と支援体制の構築
 - ・ 虐待・いじめ・不登校対応の体制強化
 - ・ 子ども・子育て予算を倍増し子ども省創設を目指す
- 4. 地域経済を守り、地域資源を活かす。**
 - ・ 農業者戸別所得補償制度の復活
 - ・ 地元優先発注で地域の力を活かす
 - ・ 地産地消を軸とした「自然エネルギー立国」の推進
 - ・ デジタル活用による地方分権と一括交付金の新設

YouTube Facebook
女性の声が政治を変える
岡本あき子の政策は ▶
立憲民主党 <https://okamotoakiko.net> 比例区は 立憲民主党

岡本 あき子
おかもと

プロフィール
岩沼市出身
経歴
向山幼稚園、青森・秋田で育ち、宮城県第二女子高校、東北大学教育学部卒
NTTを経て
仙台市議会議員 5期
衆議院議員 1期
家族 夫・長女・長男
趣味 テニス
空手(月心会)

政治は国民のもの
自民党
コロナを乗り越え
新しい社会 安心な未来を
皆さんと共に創ります。

土井とおる7つの重点政策!

- 1 新型コロナ感染防止対策**
国民の生命と安全・安心の確保、感染者数を抑え医療提供体制と社会機能を維持するため、感染状況の変化に応じた政策とガイドラインの制定を図ります。
- 2 地域経済の立て直し**
新型コロナウイルス感染症により厳しい影響を受けている企業をはじめ、飲食店等に対する経済支援策を、重点的・効果的かつ迅速・確に実施します。
- 3 教育・子育て支援**
虐待の防止や子供の貧困問題など、幅広い課題に対応するため「子供の視点に立った」「子供に特化した」議論を行い、全ての子どもたちの未来に責任を持つため「子ども庁」の創設に向け取り組みます。また、経済的理由で子供たちが進学・修学を断念することのないよう、高等教育無償化制度の実施を確実に進めてまいります。
- 4 社会保障制度の充実**
医療、年金、介護、子育て、保育など、全ての分野における社会保障について、財政の健全化と超高齢化社会における社会保障の安定は両輪であると考え、社会保障制度改革で「生活の安心」へつなげます。
- 5 地域独自の地方創生の推進**
地方分散型の活力ある地域社会の実現に向けた地方創生施策として「デジタル化の推進」「働き方改革と地方分散化」[2050年脱炭素社会の実現に向けた取組み]を推進します。
- 6 国土強靱化**
東日本大震災からの復興をはじめ、太白区の沢川の氾濫を防ぐための排水機場の設置、また大雨の度に悩まされた大倉地区の道路の整備事業などを行ってまいりました。今後も激甚化・頻発化する自然災害から暮らしを守り、あらゆる防災・減災・インフラの整備を迅速に行います。
- 7 憲法改正**
大きく変化した国内外の環境に合わせて議論を進め、国民の幅広い理解を得て、憲法改正を目指します。(※日本国憲法の三原則は変えません)

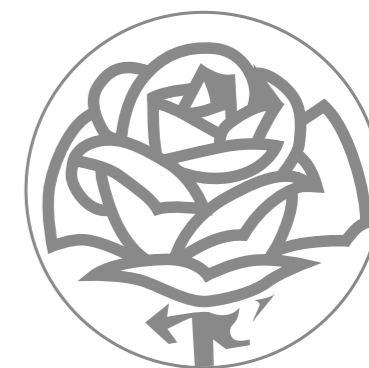
人生のすべてをかけて
ひたむきに結果を出すため働き続けます
仙台・宮城から日本を元気に

- 実績
- 国道48号作並地区の雪崩対策工事ともなう仮設道路への切り直し
 - H27.9発生台風18号ともなう鳴瀬川水系吉田川 改良復旧事業
 - H27.9発生台風18号ともなう浪井川復旧工事
 - 国道4号大街道路 新規事業
 - 仙台塩釜港 国際物流ターミナル整備事業
 - 耐震診断義務付け対象の建築物の耐震改修等に関して補助率引上げ措置
 - 国道45号三陸沿岸道路(南三陸道路)復興加速事業
 - 東北自動車道 管生スマートインターチェンジ 新規準備段階調査箇所採択
 - 秋保二口街道地域間交流促進基盤整備実施
 - 国道48号作並地区歩道整備
 - コロナ禍対策助成金 光のページェント イベント補助
 - 大倉ダム道路整備
 - 箱根交差点 4号線仙台バイパス整備
 - 鹿又交差点の整備促進
 - 日尻川の排水機場建設等、結果を出しました
- 土井とおる 経歴
昭和33年8月12日生まれ
仙台南高等学校(東北工業大学電子工業高等学校) 卒業
東北大学法学部卒業
宮城県議会議員(3期)、衆議院議員(4期)、自由民主党宮城県連幹事長、自由民主党宮城県連会長、自由民主党宮城県第一選挙区支部長、国土交通大臣政務官、国土交通副大臣、復興副大臣、自由民主党情報調査局長



自由民主党
公認

土井とおる



一票が 輝く未来の 道しるべ

石巻市 佐藤 佑美さん

10月31日(日)は、 衆議院議員総選挙 最高裁判所裁判官国民審査の 投票日です。

- ◎投票日当日、投票ができないときは、^{きじつぜん}期日前投票または不在者投票をしましょう。
(10月30日(土)まで)
- ◎投票所の入場券が届いていない場合やなくしてしまった場合でも、選挙人名簿に登録されているご本人であることが確認できれば投票できます。

有権者の皆様へのお願い

- ・マスク着用や咳エチケット、周囲の方との距離の確保、来場前・帰宅後の手洗い等をお願いします。
- ・新型コロナウイルス感染防止に向けて、投票所の混雑緩和のため、期日前投票の積極的なご利用をお願いします。

新型コロナウイルス感染症で自宅・宿泊療養されている有権者は特例郵便等投票が利用できます。

投票用紙の請求期限／10月27日(水)午後5時まで

投票用紙の請求先／市区町村選挙管理委員会

特例郵便等投票の対象者／

- ・衆議院議員総選挙、最高裁判所裁判官国民審査の有権者で、投票用紙の請求の時点で、以下の外出自粛期間や隔離等措置期間が10月20日(水)から10月31日(日)までの期間にかかる見込まれる方
- ・感染症法または検疫法の規定により外出自粛要請を受けた方(ただし、濃厚接触者は対象外)
- ・検疫法の規定により隔離または停留の措置を受けて宿泊施設に収容されている方

衆議院議員総選挙・最高裁判所裁判官国民審査については、
宮城県選挙管理委員会ホームページをご覧ください。

宮城県選挙管理委員会

検索

宮城県選挙管理委員会 〒980-8570 宮城県仙台市青葉区本町三丁目8番1号 宮城県庁内